

第17回「斐伊川・神戸川流域環境マップづくり」成果発表会

日時：令和5年11月18日(土)14:30～16:00 会場：出雲科学館

主催：NPO法人 しまね体験活動支援センター

協力：島根県中山間地域研究センター

後援：出雲市教育委員会、雲南市教育委員会、奥出雲町教育委員会、飯南町教育委員会、
国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所

助成：公益財団法人河川財団、一般社団法人中国建設弘済会

総評：出雲市教育委員会教育政策課社会教育係 係長（社会教育主事） 大國亨氏

来賓：国土交通省出雲河川事務所 計画課 建設専門官 廣野太志氏、
一般社団法人中国建設弘済会 島根支部長 江角忠也氏

内容：斐伊川・神戸川流域の1小学校、1中学校の児童・生徒が2023年に実施した河川環境調査等の取り組みを様々な手法で発表しました。プレゼンテーション、パネルを使ってそれぞれの調査結果や気づき、自分達でできることなど発表してもらいました。
新型コロナウイルス感染拡大防止のため例年よりも発表者人数を減らし、十分に部屋の喚起を行い、マスクを着用して開催しました。出雲市立塩冶小学校15名、出雲市立佐田中学校4名、(発表順)に発表していただきました。その後、他校の発表を聞いた感想など会場での意見交換を行い成果の検証を行うとともに活動の成果を共有しました。最後に発表校には表彰状と記念品贈呈も行いました。



出雲市立塩冶小学校の発表



出雲市立塩冶小学校の発表



出雲市立佐田中学校の発表



出雲市立佐田中学校の発表



意見交換風景

出雲河川事務所 廣野太志氏

塩冶小学校は神戸川・斐伊川・赤川を4クラスそれぞれの視点で調査を実施し、2008年の神戸川の調査結果との比較や斐伊川と神戸川の比較なども行いました。またゴミ調査の活動でカン・ペットボトルが一番多かったとことを報告し「ポイ捨てしない活動を通じて川をきれいにしたい」と発表しました。佐田中学校は、清涼飲料水が少量でも水質悪化を招くことを知り、川が汚れる原因が生活排水などだと「ゴミ拾いなど私たちにできる活動していきたい」と発表しました。



青木理事長から感謝状・記念品贈呈



中国建設弘済会江角支部長



出雲市教育委員会大国係長



発表者と関係者の記念撮影